

【会議録】	報告者	まちづくり推進課都市計画グループ				室本	
名称	第4回 富士見市都市計画基本方針策定委員会						
日時	令和2年7月1日(水) 14時30分～16時30分						
場所	中央図書館2階 視聴覚ホール						
出席者	委員	1号	委員	塩野 弓子	3号	委員	中村 章
		2号	委員長	深堀 清隆		委員	新井 幸雄
			副委員長	木内 芳弘		委員	小栗 知実
		3号	委員	金子 光治		委員	浅井 聡一
	委員		渋谷 利江				
事務局職員及び説明担当員	【事務局職員(まちづくり推進部)】 落合部長、高橋市街地整備担当課長 【事務局職員(まちづくり推進課)】 栗林課長、會田副課長、室本主任 【委託業者】 玉野総合コンサルタント(株) 渡辺係長、大家主任						

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 資料説明<質疑応答>

- ・全体構想について

事務局から、配付資料を説明。

【意見・質疑応答】

(スケジュールについて)

■木内副委員長

新型コロナウイルス感染症の影響により、期間が空いてしまっているが、年内の議会上程はスケジュール上可能なのか。

◆事務局

総合計画の検討スケジュールに合わせ、年内の議会上程を目標として進めたいと考えている。

■深堀委員長

都市計画マスタープランの内容に問題が生じなければ大丈夫と思うので、重要な問題提起があるかどうかを見ながら進めていきたい。

(修正事項について)

■木内副委員長

P4 は鉄道が「東部」にあると記載しているが、「西部」ではないか。

◆事務局

修正する。

(新型コロナウイルス対策)

■浅井委員

新型コロナウイルス感染症により在宅勤務等が普及しているが、その結果昼間人口が増えることが考えられる。この状況を踏まえ、都市計画マスタープランには、空家や生産緑地の活用について記載してはどうか。

■深堀委員長

アフターコロナを踏まえた記載は必要である。昼間人口を受け止める施設や空家の有効活用、災害発生時に活用できる余剰空間など記載できると良いと思う。

(土地利用の方針について)

■深堀委員長

鶴馬・新河岸川ゾーン、沿道ゾーン(仮)とあるが、沿道ゾーンの方は名称が決まっていないという認識で良いか。

◆事務局

沿道ゾーンは名称が確定していない。

(住環境整備の方針について)

■渋谷委員

公共施設の適正配置とあるが、地域毎の過不足状況を確認しているのか。

◆事務局

公共施設のマネジメントを実施しており、その中で検討しているものと考えているが、具体的な施設について言及しているかは把握していない。市全体の配置計画になると思う。

■深堀委員長

適正配置の意図を込めて書くと良いと思う。

(交通体系の方針について)

■深堀委員長

次世代の公共交通のあり方について、現時点の最新技術について記載するというより、高齢者のニーズに応えたり、サポートを行うという内容を足すことができると良いと思う。

◆事務局

20年後の技術についてはどこまで進歩していくのか予測がつかないため、現在のような表現としている。

(水とみどりの方針について)

■渋谷委員

生産緑地地区の解除に備えた対応検討とあるが、解除後の利用方法が分かっている状況なのか。

◆事務局

現在は具体的に把握していないが、解除に向けた動きが出た段階で都度検討の必要があると考えている。

■深堀委員長

生産緑地地区の解除に備えるということは、特定生産緑地のようにできるだけ維持するという意味は含まないのか。

◆事務局

本市においては令和4年12月に指定後30年経過となる。特定生産緑地の申し出も含めて対応を考えていきたい。

(都市の防災に関する方針について)

■深堀委員長

水害対策について、安全なエリアへの居住誘導だけではなく、1 階部分を非住居系にしていくなど建築物の誘導も考えられる。

◆事務局

検討する。

■新井委員

「農地・緑地の保全による湧水機能の保持」とあるが、どのように保持していくのか答えられるようにしておくことが重要である。

■深堀委員長

都市計画マスタープランの中でそこまで踏み込んで記載するのは難しく、土地利用として農地を守るという記載に留まるのではないかと思う。

■木内副委員長

遊水機能は、水田だと良いが畑作への変更や盛土をすると低下してしまう。

■新井委員

耕地に転換するのであれば農地のままなので問題ないことになるが、遊水機能は失われる。そうした点を踏まえて書いた方がいいのではないか。

◆事務局

農業政策的な面が多く含まれる内容については、都市計画マスタープランの中では詳細に記載することが難しく、現在の内容としている。

■深堀委員長

水害対策としては、遊水機能だけでなく河川整備など総合的に取り組んでいくこととなる。都市計画マスタープランとして、畑作に転換させないということは難しいが、土地利用として農地を守っていくことは書いておいて良いと思う。

■木内副委員長

このような表現としておくしかないと思う。

・地域別構想について

事務局から、配付資料を説明。

【意見・質疑応答】

■木内副委員長

交通体系の方針について、幹線道路だけでなく補助幹線的な道路計画が必要ではないか。公共交通の方針について、鶴瀬東地区ではバス路線の維持についてしか記載していないが、もう少し記載が必要なのではないか。

◆事務局

検討する。

■木内副委員長

鶴瀬東地域は人口密度が 88.6 人/ha と低いように思うが、第一種低層住居専用地域が広く指定されていることや生産緑地が多いことが原因なのか。

◆事務局

生産緑地地区が多いエリアであるため、人口密度が低いという点はあると思う。令和 4 年 12 月以降、指定解除が進むことが考えられるため、人口密度に影響することもあるかもしれない

が、市としては解除を進めるものではなく、急激に変化が起こるとは想定していない。

■木内副委員長

南畑地域の防災の方針に、避難ルートや避難場所の確認とあるが、一次避難場所だけでなく地域外の二次避難場所への誘導ということも含めたものと考えて良いか。

◆事務局

台風 19 号襲来の際は、避難所を数カ所開設したが、定員に達した経緯がある。今後、避難所の確保や情報伝達についても検討していく必要があると認識している。

■木内副委員長

P24、水谷地域の概要にふじみ野駅とあるが、みずほ台駅ではないか。

◆事務局

修正する。

■木内副委員長

P35、西みずほ台地域の景観形成の方針に、本市の玄関口とあるが、他の駅に記載されていないが、記載した意図を教えてください。

◆事務局

市内には 3 駅立地しているため、他駅についても内容を検討する。

■深堀委員長

景観の方針については、地域ごとに特徴がわかるよう表現してほしい。

■浅井委員

南畑地域の水とみどりの方針、びん沼自然公園について、スポーツ・交流についてもう少し記載しておいた方が良い。

◆事務局

表現を検討する。

■深堀委員長

地域の歴史についてももう少し読み取れるようにしてほしい。

◆事務局

表現を検討する。

■深堀委員長

写真などを入れる良いと思う。

■深堀委員長

地域での人の活動に関する記載が少ないように思う。

■深堀委員長

住環境と防災の書き分けに違和感を感じるため、表現を工夫してほしい。

■深堀委員長

地域毎に違いが出るようなデータがあると良いと思う。

■塩野委員

地域別に記載する内容と、各地域共通を書き分けると良いと思う。

◆事務局

検討する。

4 その他

(オープンハウスについて)

■新井委員

オープンハウスの対象者はどのように考えているのか。

◆事務局

市民ワークショップの委員(各地区 14 名)を想定している。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、委員が一同に集まることを避けるためにオープンハウス形式を考えている。

■深堀委員長

委員だけでなく、他の市民にも見ていただけるようにすると良いと思う。

◆事務局

市民には、9月の市民説明会において周知できると考えている。

■金子委員

指針によると20人までの会議であれば実施できるため、ワークショップ形式で開催可能なのではないか。

■深堀委員長

必ずしも模造紙を囲まなくても良いと思うので、委員が集まって意見交換できる方が良いと思う。

◆事務局

方法を含め検討する。

■中村委員

オープンハウスで提示する資料は地域の特徴が分かるように工夫してほしい。また、オープンハウスまでにしっかり確認しておいた方が良い。細かいところになると、ここが違うという意見が出てきそうに思う。

■中村委員

地域ごとの課題・方針が横並びで見られるようにマトリクス的に整理してはどうか。

■委員長

そうした資料は作ってほしい。

(南畑公民館について)

■渋谷委員

南畑公民館が9月から改修工事に入るが、改修中の避難対策などはどうすれば良いか。

◆事務局

南畑公民館に人が入れない状況であれば、他の場所への避難について、早めに周知させていただく。

(都市計画マスタープラン全体について)

■小栗委員

方針部分の表現が固く、読みづらいと思う。

■委員長

コラムを入れたり、デザインを工夫するなどできれば良いと思う。

5 閉会